

会 告

第 84 回 (秋季) 講演大会 討論会 コメント ならびに 質問募集のお知らせ

本会では第84回講演大会を来る10月18日(水)～20日(金)の3日間名古屋大学工学部において開催いたしますが、講演大会開催にさいし、下記討論会が開催されます。本討論会の講演内容は本号(10号)巻末に掲載いたしておりますので、内容ご覧のうえ、講演に対するコメントならびに質問をふるつてご投稿下さるようお知らせいたします。

記

- | | | |
|-------------------|---|---|
| 1. 討論会テーマ | I. 高炉の羽口破損の機構について
II. 溶鋼の真空脱ガス—操業と材質—

III. 熱間加工の温度, 速度, 加工度と組織
VI. 鋼の低温焼もどしによる炭化物の析出とその影響
V. 鉄鋼の格子欠陥—マルテンサイトと格子欠陥—
VII. 鋼中の析出物および非金属介在物の態別定量 | 座長 八 塚 健 夫
座長 渡 辺 省 三
副座長 浅 野 鋼 一
座長 中 村 正 久
座長 西 山 善 次
座長 橋 口 隆 吉
座長 成 田 貴 一 |
| 2. 投稿締切日 | 昭和47年9月30日(土) | |
| 3. 原 稿 | 任意の用紙にご執筆のうえ提出下さい。 | |
| 4. 送 付 先 | 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 | |
| 5. 討論講演概要
会誌掲載 | 討論講演の概要は本誌(10号)のみに掲載され、講演概要集(11号)には掲載されません。
討論会参加の方は本誌掲載分をご持参下さい。 | |

第 84 回 (秋季) 講演大会 特別講演会 開催案内

本会では10月18日(水)～20日(金)の3日間名古屋大学において講演大会を開催いたしますが、これを機会に下記により特別講演会が開催されますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和 47 年 10 月 18 日(水) 9:30～12:00
2. 場 所 名古屋大学工学部4号館3階講会議室
3. 題目・講師
 1. 来た道行く道—自動車工業とともに—
豊田中央研究所代表取締役 梅原半二君
 2. 演題未定
Department of Metallurgy, Royal School of Mines Prof. Dr. F. D. Richardson

会費および入会金の変更について

昭和47年4月4日開催の第57回通常総会において会費および入会金が次のように変更され、同年7月3日付にて文部大臣の承認がありましたのでお知らせいたします。

記

	会費年額	入会金
正 会 員	4000円(従前 3000円)	400円(従前 300円)
学 生 会 員	2000円(〃 1500円)	200円(〃 100円)
外 国 会 員	4500円(〃 3600円)	450円(〃 360円)

昭和 48 年 1 月 1 日 から適用

第84回講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第84回(秋季)講演大会を昭和47年10月18日(水)、19日(木)、20日(金)の3日間名古屋大学で開催いたしますが、これを機会に10月18日懇親会、19日婦人見学会、21日(土)工場見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

記

1. 見学会

- 期 日 1班～3班 昭和47年10月21日(土)
 婦人コース 〃 10月19日(木)
- 申込締切 1班～3班 昭和47年9月13日(水)
 婦人コース 〃 9月30日(土)

2. 懇親会

- 期 日 昭和47年10月18日(水) 18:00～20:00
 ○ 申込締切 〃 9月30日(土)

3. 申込方法 下記「見学参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受け付けいたしません。なお銀行振込みならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。

4. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会見学会係 TEL 03-279-6021(代)

見学会参加申し込み上の注意

- 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
- 申し込み締切りは工場見学は9月13日(水)17時着信まで、婦人見学班9月30日(土)12時着信までとします。
- 申し込みは1人1班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。
- 見学希望数が半数に満たない場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
- 見学会が中止となった場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは9月5日16時着信までとし、以後は取消しの申し出があっても返金いたしません。
- 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。また見学班表中*印は同業者の見学をお断りいたします。
- 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券といつしよに送付いたします。

懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇談会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

記

- 日 時 昭和47年10月18日(水) 18:00～20:00
- 会 場 愛知会館大ホール(名古屋市東区赤荻町 2-52) TEL 936-5171
- 会 費 1500円(同伴夫人はご招待いたします)
- 申込締切日 昭和47年9月30日(土)
- 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
- 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京 03-279-6021

第84回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 1班～3班 昭和47年9月13日（水）

婦人コース 〃 9月30日（土）

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名					
勤務先および 職 名					
勤務先所在地					(郵便番号)
領収書送付先					(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)					(郵便番号)
第1希望 第2希望 第3希望 (婦人コース)			班 班 班		送金額 ￥

.....切.....取.....線.....

第84回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和47年9月30日（土）

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名				
勤務先および 職 名				
勤務先所在地				(郵便番号)
領収書送付先				(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)				(郵便番号)
ご夫人名			送金額 ￥ 1500	

第84回講演大会ジュニアパーティー開催のお知らせ

本会では来る10月18日(水)、19日(木)、20日(金)の3日間名古屋大学工学部において、第84回講演大会が開催される機会に、ジュニアパーティーを開催いたします。

ジュニアパーティーは会員は誰方でも気軽に参加でき、自由放談、親睦交歓の場として催されておりますが、今回は新しい企てとして講演座長、協会の各種研究委員会などの委員長の中から数名の方をお招きし、これらの方々を囲み技術面あるいは研究面で苦心している点、最近のトピックスなどを語り合える機会を作ることを考えました。同時に講演会場では十分でなかつた討論の継続もしていただいても結構です。

多くの会員が専門を年齢を離れて集い、大いに語り合い楽しくくつろいだひとときを過していただくために、会場も名古屋市の中心地に近く雰囲気もジュニアパーティーに適した浩養園を選びました。

お誘い合せのうえ多数の方々がご出席下さるようご案内いたします。講演会場から浩養園までバスを運行いたします。

記

1. 日 時 昭和47年10月19日(木) 18:00~20:00
2. 会 場 浩 養 園 (名古屋市千種区高松町1丁目30番地)
3. 会 費 1000 円
4. 申込締切日 昭和 47 年 10 月 11 日 (水)
5. 申込方法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
6. 申 込 先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係 TEL 03-279-6021

.....切.....取.....線.....

第 84 回講演大会ジュニアパーティー参加申込書

申込締切日 昭和 47 年 10 月 11 日 (水)
 送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。
 送付先 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
 日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係

会員資格	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名		
勤務先および 職 名		
勤務先所在地 (郵便番号)		
領収書送付先 (郵便番号)		
通信先(勤務 先と違う場合) (郵便番号)		
送金額	¥ 1000		

第 84 回 講 演 大 会 見 学 班 表

10 月 21 日 (土曜日)

班	定員	見 学 先	事 業 内 容	所 在 地	見 学 時 間	集 合, 出 発 場 所・時 間 帰 着 場 所・時 間	見 学 参 加 費 備 考
1	50	新 日 本 製 鉄(株) 名 古 屋 製 鉄 所 大 同 製 鋼(株) 知 多 工 場 愛 知 用 水 佐 布 里 池	製 鉄, 製 鋼, 圧 延 製 鋼, 圧 延, 特 殊 鋼 材	東 海 市, 東 海 町 5-3 東 海 市, 元 浜 町 39 東 海 市	10.00~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,500 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)
2	50	新 東 工 業(株) 豊 川 製 作 所 * O S G 株 式 会 社 豊 川 稻 荷	コ ン ベ ア ・ プ ラ ン ト, 溶 解 造 型 装 置, 集 塵 装 置 精 密 切 削 工 具, 測 定 工 具, 精 密 工 作 機 械 製 造	豊 川 市, 市 田 町 愛 知 県, 宝 飯 郡 一 宮 町 豊 川 市	10.30~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,800 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)
3	50	矢 作 製 鉄(株) * 東 洋 ベ ア リ ン グ 製 造(株) 桑 名 工 場 薩 摩 義 士 史 跡 千 本 松 原	鋳 物 用 錠, 合 金 錠, 鋳 物 各 種 ベ ア リ ン グ 製 造	名 古 屋 市, 港 区 昭 和 町 18 桑 名 市, 大 字 東 方 桑 名 市	10.00~12.00 13.00~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 17.00	1,500 円 (昼 食 費 を 含 む) (帰 路 観 光)

工場は写真撮影禁止 * 印：同業者の見学お断り

10 月 19 日 (木曜日) 婦人コース

班	定員	見 学 先	内 容	所 在 地	見 学 時 間	集 合, 出 発 場 所・時 間 帰 着 場 所・時 間	参 加 費 備 考
婦 人 班	30	明 治 村, 入 鹿 池 日 本 ラ イ ン 下 り	観 光	犬 山 市 美 濃 加 茂 市 一 犬 山 市	10.30~12.30 13.30~15.00	テ レ ビ 塔, 北 側 8.45 テ レ ビ 塔, 北 側 16.30	2,000 円 (明 治 村 入 鹿 池, 乗 船 料, 昼 食 費) (を 含 む) (婦 人 優 先)

「鋼における水素の挙動」シンポジウム開催案内

—— 遅れ破壊機構解明へのアプローチ ——

鉄鋼基礎共同研究会遅れ破壊部会（日本鉄鋼協会、金属学会、日本学術振興会）主催で下記により標記シンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加下さい。

記

1. 日 時 昭和47年11月22日（水）9:30～17:00
2. 場 所 新丸ビル大会議室（東京都千代田区丸の内1丁目5番1号）
電話：(03)211-7801 交通：東京駅丸の内側
3. 講 演

(1)	9:30～10:50 遅れ破壊の機構	阪 大 藤田 英一君
(2)	10:50～12:10 水素による遅れ破壊の現象的特徴について	日本製鋼 大西 敬三君
(3)	13:00～14:20 強力鋼の遅れ破壊感受性	金材技研 金尾 正雄君
(4)	14:20～15:40 鉄鋼材料の水素誘起現象	山 口 大 蒲地 一義君
(5)	15:40～17:00 鉄中の水素の拡散に関する最近 の研究と問題点	東 北 大 平野 賢一君
4. 参加費無料
5. 講演要旨集ご購入の方は600円（現金書留）に添えて、遅れ破壊シンポジウム要旨集と明記の上、下記宛11月26日（月）までにお申し込み下さい。折り返えしお送り致します。
お申し込み先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階（〒100）
日本鉄鋼協会技術部 遅れ破壊部会事務局宛 TEL (03) 279-6021

アグロメレーション研究委員会開催について

本会は日本鉱業会と共催で下記によりアグロメレーション研究委員会を開催することとなりました。ご興味のおありの方はご出席下さい。

日 時 昭和47年10月8日（日）9:00～12:00

会 場 熊本大学工学部教養部

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 研究委員会報告 | 委員長 柳 橋 哲 夫 |
| 2. 製鉄原料とその塊成法について | 九 大 八 木 貞之助 |
| 3. 鉄鉱石のペレタイジング | 九工試 諫 山 幸 男 |
| 4. 鉄鉱石ペレタイジングにおける熟処理について | 東北大 下飯坂ほか |
| 5. 成形コークスの問題 | 石炭技研 山 村 礼次郎 |
| 6. ニッケル鉱石のブリケットングについて | 日本鉱業 江 本 碩 男 |
| 7. 大分製鉄所第1焼結工場の建設ならびに操業 | 新日鉄 川 辺 正 行 |

この研究会は全国地下資源関係学協会合同秋季大会行事の一部として行なわれますので、出席される方は同大会の参加費として主催・共催学協会会員 1500 円（非会員 2500 円）が必要です。

なお同研究委員会では下記要領により見学会を開催します。

見学日時 昭和47年10月7日（土）9:00～13:30

集 合 大分駅 9:00

見学工場 新日本製鉄大分製鉄所（ペレタイジングを主に見学）

見学参加費 未定（当日徴集，中食費に充当）

定 員 50名

申 込 日本鉱業会（東京都中央区銀座8丁目5番4号 電(572)5091）

（見学終了後バス（やまなみハイウエー経由）または鉄道で夕刻までに熊本に着けます）

第 14 回 高 圧 討 論 会

日 時 10 月 23 日(月)~10 月 25 日(水)
 場 所 大阪科学技術センタービル 4 階
 大阪市西区靱町 1 丁目 118 (地下鉄四ツ橋線本町駅下車北へ徒歩 5 分)
 参加登録 予約締切 9 月 15 日(金)
 本討論会は参加登録制を実施しております。登録予約、一般 2,000 円、学生 1,500 円(予稿集 1 部、送料共)、当日登録 2,500 円(予稿集 1 部共)。申込者には予稿集を 10 月 10 日頃に郵送します。なお討論会終了後残部があれば販売致しますので、希望者は下記の事務局まで申込み下さい。
 懇 親 会 10 月 24 日(火) 17:30~19:30 大阪科学技術センタービル 701 号室、会費：一般 2,000 円、学生 1,500 円
 申込み方法は問合せのうえ 9 月 15 日(金)までに送付願います。
 申 込 先 第 14 回高圧討論会準備委員会 〒565 吹田市山田上
 大阪大学産業科学研究所小泉研究室内 電話(068)78(大阪山田)-5111 内線 3536

第 4 回結晶成長国際会議 (ICCG-4) 1st Circular お知らせ

開催時期：1974 年 3 月 24 日~29 日
 場 所：東京都経団連会館
 登 録 料：20,000 円(含プロシーディング)
 発表申込み締切：1973 年 9 月 15 日(500 字のアブストラクト)
 1973 年 11 月 30 日(要旨集用のアブストラクト)
 // (プロシーディング用原稿)
 1st Circular は下記にお申し込み頂ければすぐお送りします。
 〒 106 東京都港区六本木 7 丁目 22-34
 日本学会会議事務局
 第 4 回結晶成長国際会議組織委員会事務局

Bockris 教授講演会

主催 電気化学協会 共催 日本鉄鋼協会、ほか
 期 日 昭和 47 年 10 月 24 日(火) 午後 1 時 30 分
 会 場 日本化学会講堂(東京都千代田区神田駿河台 1-5)
 講 演 “The Properties of Hydrogen in Metals”
 Flinders 大学 J. O'M. Bockris 教授
 定 員 120 名(申込先着順)
 参加申込締切 10 月 11 日(水)
 はがきに住所、氏名、勤務先を明記して期限内に、〒100 東京都千代田区有楽町 1-11 新有楽町ビル 電気化学協会腐食専門委員会(電話 03(214)6001)宛お申し込み下さい。
 なお、期日前でも定員に達し次第締め切ります。当日、資料代(500円)を申し受けます。

M. G. Fontana 教授講演会

日本金属腐食会議、電気化学協会共催
 期 日 昭和 47 年 10 月 9 日(月) 午後 2 時
 会 場 科学技術館サイエンス・ホール(東京都千代田区北の丸公園 2-1)
 講 演 (14:00~16:00)
 “Corrosion and Corrosion Control”
 Ohio 大学 M. G. Fontana 教授

金属の状態の物理的分析法

主催 日本金属学会, 協賛 日本鉄鋼協会ほか

第1次 日時: 昭和47年10月24日(火)~25日(水)

場所: 都道府県会館 (東京都千代田区平河町 2-4 電話 03-265-6411)

第2次 日時: 昭和47年10月26日(木)~27日(金)

場所: 大阪市立中央青年センター (大阪市東区法円坂町 6 電話 06-943-5021)

第1次・日程

第2日: 10月27日

第1日: 10月24日

9:30~11:00 走査顕微鏡とX線マイクロアナライザ
日本電子 紀本 静雄, ほか

9:30~11:00 メ斯巴ウア 阪大基工 藤田 英一
午後 見学・実習

13:00~14:30 Auger 電子分光と低速電子回折
(LEED) 学習院大理 村田 好正

参加申込要領
定員 第1次 150名 第2次 210名

15:30~17:00 イオンマイクロアナライザと
その応用 日立製作所 田村一二三

申込締切 昭和47年9月30日(第1次, 第2次とも)

第2日: 10月25日

9:30~11:00 電子顕微鏡と電子回折の応用
京大化学研 植田 夏

聴講料
会 員 6,000円 (テキスト代を含む)
(維持員会社の社員を含む)

午後 見学・実習

非 会 員 10,000円 (/)

学 生 会 員 2,000円 (/)

学 生 非 会 員 3,000円 (/)

第2次・日程

(本会の会員は会員聴講料とします)

第1日: 10月26日

9:30~11:00 超高压電子顕微鏡 (HVEM) の
金属物理分析への応用の基礎
京大工芸大 橋本初次郎

申込み方法 下記申込書の各欄ご記入の上, 聴講料を添
え (現金書留, 為替, 振替 仙台 5592 のいずれでもよ
い) お申込み下さい. 受理次第聴講券をお送りいたし
ます.

13:00~14:30 X線光電子スペクトロメトリーに
よる金属の状態分析
阪大理 池田 重良

申込先 (980) 仙台市大町1丁目1番13号(東活ビル)

日本金属学会 電話 (0222)23-3685

15:30~17:00 金属における磁気共鳴
名大理 益田 義賀

見学(または実習)参加について 定員は 30 名です.

「鋼の強靱性」シンポジウムの Proceedings 刊行のお知らせ

昭和 46 年 10 月, 京都で開催された標記シンポジウムのプロシーディングスがクライマックス・モリブデン社より刊行されました.

本書をご入用の方は当協会へお申し出下さい. 郵送料ご負担でお頒け致します.

目 次 内 容

延性と靱性の原子論的基礎づけ: 鈴木 秀次
The Effect of Composition and Microstructure on
Ductility and Toughness: F. B. Pickering
Criteria of Ductility and Toughness for Fracture-
Safe Design: E. A. Lange
低合金調質高張力鋼の靱性と有効結晶粒径: 松田昭一,
井上 泰, 三村 宏, 岡村義弘
低炭素合金鋼の焼戻し脆性: 大内千秋, 田中淳一,
大須賀立美
調質高張力鋼の靱性におよぼす変態組織の影響:
邦武立郎, 寺崎富久長, 大森靖也, 大谷泰夫
強靱低炭素ベーナイト鋼: 寺沢 健, 東山博吉,
関野昌蔵
Manganese-Molybdenum-Niobium Acicular
Ferrite Steels with High Strength and Toughness:
Y. E. Smith, A. P. Coldren, R. L. Cryderman
鉄鋼の低温脆性: 北島一徳
Thermomechanical Treatment of Steels:
M. J. May, D. J. Latham

オースフォーム鋼の微細組織と機械的性質:
荒木 透, 渡辺 敏, 宮地博文
準安定オーステナイト鉄系合金のマルテンサイト
変態誘起延性: 田村今男, 牧 正志
時効硬化性マルテンサイト鉄合金の強靱性について:
田中 実, 山本 襄
高速度工具鋼の靱性におよぼす一次炭化物の影響:
清永欣吾
Effects of Composition on Ductility and Toughness
of Ferritic Stainless Steels: M. Semchyshen,
A. P. Bond, H. J. Dundas
高張力鋼の水素吸収に伴う脆化について:
徳田 昭, 大西敬三
環境脆化による遅れ破壊と金属組織: 浅田千秋,
福井彰一
高張力鋼の遅れ破壊: 山本俊二, 藤田 達
The Effect of Neutron Irradiation on the Toughness
and Ductility of Steels: T. C. Reuther,
K. M. Zwilsky
Ductility Improvements in Superalloys:
R. G. Dunn, D. L. Sponseller, J. M. Dahl